

# セ ボ ネ

セタガヤ

ボランティア

ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン  
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2017.12 No.164

今月のトピック

特集●

## 「失語症カフェ」はじめました ～コミュニケーションのバリアフリーをめざして～

まちの市民力! ● イクリスせたがや  
キラリ世田谷人 ● 工藤 恵子さん



tomixxx

イラストレーション● ぶかさわ とみこ  
小さなしあわせもたくさん集めればきっと  
大きなしあわせになります。  
ちょっとしあわせな気分になって笑顔になる  
「しあわせのしずく展」を毎年開催して  
います。

### ●わたしの世田谷

ゆっくり走る世田谷線を眺めていると、  
時間もゆっくり流れて穏やかな気持ちに  
なる世田谷が好きです。  
そんな世田谷で展示会を始めて来年は  
12年目になります。

# 「失語症カフェ」はじめました ～コミュニケーションのバリアフリーをめざして～



お茶を飲みながら、「失語症」について  
知ることができる場

「言葉」は私たちがコミュニケーションをとる上で、必要不可欠なものです。しかし、突然の事故や病気で、「言葉」を使ったコミュニケーションが難しくなると、今までの生活が一変してしまいます。

失語症への理解を深め、失語症会話パートナーの活動を広げようと、梅丘で「失語症カフェ」の試みが始まりました。「失語症会話パートナー世田谷連絡会」の横井美代子さんにお話をうかがいました。

「失語症」のむずかしさとは

脳卒中や事故による脳損傷の後遺症で、失語症は起こります。脳の萎縮によって起こる認知症とは違い、左脳にある言語野が損傷することにより、「話す」「聞く」「読む」「書く」ことが難しくなります。症状は人によってさまざまです。話を聞いて理解することはできるけれど、自分の想いを話すのが難しい人や、一見会話ができていてるように見えても、相手の言葉を理解するのが難しい人もいます。判断力や記憶力は変わりませんが、適切な言葉を引き出すのが困難になったり、言葉と意味の関連付けが難しくなったりします。

NPO法人全国失語症協議会によると、患者は全国に30万〜50万人いると推定されていますが、その実態はなかなか解明できず、社会における理解や支援が進んでいないのが現状です。言葉の障害は外見でわかりにくく、自分の思い

をうまく伝えることができないうめ、もどかしい思いをして、会話や外出をする機会が減り、孤独になつてしまいがちです。

思いに寄り添うパートナー

そんな失語症の方のコミュニケーションをサポートするのが、「失語症会話パートナー（以下、会話パートナー）」です。もともとは、カナダで失語症の人のための会話パートナーの養成を行っている、ということを知った言語聴覚士が「日本でも会話パートナーを養成しよう」と呼びかけたところから始まりました（現在はNPO法人「和音」）。2000年に第1回目の「失語症会話パートナー養成講座」が開催され、横井さんはその第2回目に参加しました。

養成講座は失語症の基礎知識を学ぶ座学と、実際に失語症の方とのコミュニケーションを支援する実習形式で行われます。横井さん

は、実習で訪れた世田谷区立総合福祉センターの失語症のグループの会話パートナーとして、講座終了後も継続してかわり、15年以上活動してきました。

自主グループでは、失語症の方が7〜8人集まって会話を中心とした活動をしています。病院で言語聴覚士が失語症の方の言葉のりハビリをするときには1対1ですが、ふだんの会話は複数で行われることがほとんどです。失語症の方にとって集団の中で会話することは貴重な機会であり、集団の中で言葉を回復していくのです。

「例えば、話すことはできるけど相手の話を理解するのが難しい



お話をうかがった横井さん

人には、会話パートナーが要点をかいつまんでわかりやすく筆記し、その人の理解度を確認しながら、みんなの会話の輪に入っているよう支援をします。一方、頭の中に言葉はあるけど、話すのが難しい人に対しては、言いたいことをゆつくりと聞き出して、本人に代わって伝え、会話がスムーズにいくよう支援します」と横井さんはいいいます。会話パートナーには、失語症の方の理解を助けたり、失語症の方の思いを伝えたりする役割があるのです。

「言葉に不自由がなければ自分の意思で選んだ言葉を発言できますが、失語症の方はそれが難しいので、思いを代弁するときには、言葉の選び方に特に気をつけています」と横井さん。会話パートナーの大事な道具は、「地図」「カレンダー」「紙と鉛筆」のほか、会話のきっかけとなるような絵や文字が載っている「コミュニケーションボード」などがあります。

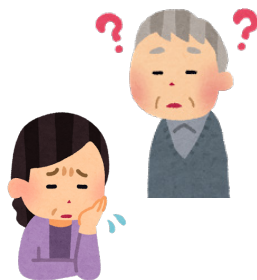


「コミュニケーションボード」があると会話もスムーズ。

失語症の自主グループの活動は「自分の思いが話せる場、ゆつくり話を聞いてもらえる場」になっています。会話パートナーはあくまでもボランティアなので言葉のりハビリはしませんが、こうしたいいいなサポートをうけた会話を重ねることによって、失語症の方の意欲を引き出すことができるのかもしれません。

### 当事者を尊重する支援

世田谷区では2005年から毎年養成講座を開催し、「失語症会話パートナー」を養成しています。



外見ではわからないため、  
家族の戸惑いは大きい

講座を受講する方のなかには、ご家族が倒れて失語症になり、そのため学び始める人もいるといいます。ある日突然、病に倒れ、言葉を失い、以前のような会話が難しくなるということ、本人にとっても家族にとっても、大きなショックを受けることは想像に難しくありません。

また、失語症は認知症と間違えられるたり、状況を理解していないと誤解されて子ども扱いされてしまうこともあります。頭の中には言葉も感情もあります。会話パートナーは「その人の尊厳を尊重して接すること」を鉄則とし、言葉だけでなく目線の動きや表情などにも注目し、感情の変化を見

逃さないようにしています。

失語症をもっと知ってほしい

「この2年ほどで失語症を取り巻く状況も変わってきている」と横井さんはいいます。障害者総合支援法で「意思疎通支援」という枠組みが規定され、昨年度からモデル事業として「失語症者向け意思疎通支援者の養成講座」も実施されています。今後は全国的に展開されていくそうです。

失語症の場合、会ったその場からすぐに十分な会話支援ができるわけではなく、ある程度コミュニケーションや背景等を知っていかないと会話のサポートが難しいという課題もあります。制度やしきみを充実させていくのはこれからのようです。「失語症ゆえに当事者の方が自ら社会に対して声をあげるののは難しく、声が届きにくいので、会話パートナーが発言していかなければ

ればと感じています」

だれでもどうぞ「失語症カフェ」

この13年で、世田谷区で養成された会話パートナーは120人をこえているそう。長年、失語症の方の会話をサポートしてきた横井さんに、転機が訪れました。ある失語症の方から、「養成された会話パートナーはたくさんいるらしいけど、いったいどこにいるの?」と尋ねられました。「総合福祉センターの自主グループでは活動しているけど、失語症の人はもつといるんなところにいるのに、どうしてもつと活動を広げないの?」と問われました。

その声に押されるように、徐々に「会話パートナーの活動の幅を広げていきたい」「失語症に対する世間の認知をもっと高めていきたい」という想いが、会話パートナー仲間のなかで強まっていきました。「失語症の方に寄り添うつ

## 「失語症カフェ」の感想

失語症の人とのコミュニケーションの取り方について学びたいと思って来ました。



どのような病気でも憂鬱になります。気持ちを前向きに持つことが大切だと思います。そのきっかけを見つけられるカフェだと思います。

言語聴覚士の先生のお話、とてもよかったです。グループ内でも意見交換できました。

もりで支援をしてきたけれど、もう一歩積極的になったほうがいいんじゃないか、と思うようになったんです」と横井さんは振り返ります。

ちょうどその頃、世田谷ボランティア協会の拠点のひとつである梅丘ボランティアビューローのスタッフとして働き始めた横井さんは、ビューローの事業として「失語症カフェ」を立ち上げることを提案しました。そして今年5月に開催した第1回目のカフェには24

人が集まり、第2回の9月には30人をこえる人たちで大賑わいでした。失語症の方やご家族のほか、高齢者施設の職員、言語聴覚士をめざす学生、会話パートナーがたくさん集まり、情報交換したり、交流を図りました。

夢が広がる 地域に広がる

年明け1月12日(金)には第3回目の「失語症カフェ」を計画しています。会話パートナーが失語症の方々の活動についてご紹介し、お茶を飲みながらゆったりとお話を聞くことができます。

☞近所の方や失語症のことをよ



く知らない人にもぜひ来てもらえたらと期待しています。そして、くつろぎのひとつに、おいしいコーヒーをいれてくださるボランティアも募集しています」

2階にある梅丘ビューローまでは階段をあがらなければならず、失語症の方のなかには足にまひのある方もいるので、できればバリアフリーな環境で実施したいところです。横井さんをはじめ、会話パートナーたちは「梅ヶ丘に限らず、こんな場がもつといろいろな場所にあつたらいいな」と考えています。さつそく、尾山台のほうに住んでいる方からも「地域で失語症カフェをやってみよう」という声があがっているそうです。認知症を地域で支えようと「認知症カフェ」は区内のあちこちで開催されるようになってきましたが、「失語症カフェ」の試みが広がるのも、もうすぐかもしれません。

(取材／編集委員 家井・伊藤、事務局 宮崎)



外国にルーツをもつ家族も  
安心して子育てできるまちにしたい

## イクリスせたがや

# まちの 市民力!!

取材・市川 徹

●  
街の中で地域やそこで暮らす  
人たちと一緒に活動している  
団体を紹介します



「イクリスせたがや」は多文化共生のための子育て支援活動をしている団体です。代表の吉田千春さんは世田谷生まれ世田谷育ち。なぜこの活動を始めたのか、お話をうかがいました。

吉田さんは、大学生の時に語学留学し、ホームステイ先で様々な国の人に出会い、楽しかった経験から日本語教師をしていました。出産を機に自身の子育てでママ友に救われた経験から、ふと「日本にいる外国籍の人たちは子育てをどうしているんだろう」と考え、大学院で研究を進める傍らで2014年にママ友たちと一緒にグループを立ち上げました。

多文化共生というと、英語を教えたりするイメージがありますが、「イクリスせたがや」は英語以外の言語を大切にしています。そうした言語は日本ではマイナーであるために、母語で話す大変な目で見られたりするので母語を隠したりする人もいるのだそう。そうではなく、「どんな言語であっても日本に受け入れられていることを示したい。様々な言語と文化背景があるということを小さい頃から知ってもらいたい」というのが活動のねらいです。

現在の主な活動は多言語による絵本の読み聞かせ（年間5回ほど）。毎回あるテーマに沿った絵

本を決めて、その絵本を4つの言語で読みます。言葉はわからなくても絵を見れば話はだいたいわかるので、子どもたちも興味津々で聞いてくれます。そのほかにも、交流イベントやワークショップなども行っています。

外国籍の人たちの子育ての悩みは、他の当事者とながらる機会がないことや、家庭での言語教育をどうするかなどのほか、差別の問題もあるといえます。そうした人たち、特に未就学児のいる家庭にどうやってアプローチしていくかが一番の課題となっています。

吉田さんは、自分たちの強みは「当事者であり、かつ研究者でもあること」と話します。「多様な人たちが混ざり合うのが普通、そういう人たちがいるから世田谷はいい『まち』と言われるようにしたい」。このような活動を通じて、世田谷が多様性を受け入れ、誰にでも住みやすい社会になればと感じました。

■イクリスせたがや

URL <http://icris-setagaya.com/> Mail : [icris.setagaya@gmail.com](mailto:icris.setagaya@gmail.com)



児童館から「きぬたま」へ  
子どもを育てる  
くどう けいこ  
工藤 恵子さん

工藤さんの40年以上にわたる児童館人生は、ひよんなどころから始まりました。大学の社会福祉学を卒業し、そのまま1年間研究室に助手として在籍。「勉強は向いていないなあ」と思って受けた東京都の職員採用試験に受かり、世田谷区への赴任が決定したのが3月の終わり。4月1日からの勤務先がたまたま、船橋児童館開設準備中の児童課でした。「子どもと遊ぶなんて向いていない」と思っていたのに、常勤職員は新米の自分ひとり。助けてくれたのは地域の方たちで、一緒に「どんな児童館にしたいか」と必死で考えました。「あの頃は23区全体

# や せた 人 キラリ

世田谷を中心に活躍する  
キラリと光る素敵な方がたを  
ご紹介します  
取材●星野 弥生

で、子どもに向  
き合うために、  
子どもの『命』  
とか『生きる』  
といった本質的  
なことも論議し  
ていたんです。  
今もそれが糧に

なっています」

児童館によく来ていた子どもが  
学校で問題を起こした時にも「児  
童館で頑張っている子だから」と  
いう工藤さんの一言で、停学を免  
れたこともありました。時には就  
職のために推薦文を書いたり、子  
どもと一緒に頑張って頑張り、子  
どもの力になりました。

児童館を子ども主体の場にしよう  
と、子どもたちと共につくって  
きた工藤さんですが、ある児童館  
の経験で大人がお膳立てし、子  
どもがお客様になってしまっている  
ことに違和感をもちました。退職  
の時にたまたま家の近くに、地域  
の子育て支援の場「きぬたまの

家」がつくられることになり、「子  
どもが主体になるためには幼児期  
の育ちから遊びをつくる場が必  
要。それをつくるのを最後のご奉  
公にしよう」と決め、理事として  
準備に関わりました。

「きぬたまの家」は外遊びと親  
子をつなぐ屋根のある拠点、里帰  
りのように親子が遊びにきます。  
子どもの一時的預かりもあり、お母  
さんたちはリフレッシュできま  
す。月に一度は「夕ごはん会」や「宿  
題クラブ」も開催されます。歩い  
て3分の多摩川の河川敷のはらっ  
ぱには、プレーワーカーのいる「き  
ぬたまあそび村」があり、自然の  
中での子どもの外遊びにつながり  
ます。

「児童館時代に関わった子どもた  
ちがいまだにもめぐとを持ち込ん  
できますが、ここに工藤がいるか  
らと訪ねて来てもらえる。子ども  
たちとは一生のつきあいかない？」  
と嘆息する日々。「きぬたま」は  
工藤さんの今の居場所です。

\*沿線別にイベントやボランティア情報を入れています。  
詳細はP10～15をご覧ください。

**子どものキモチをきいてみよう**

(日) 13時半～15時半  
丸西経堂第1集会所  
マジョの会 P14

**ダンス大会**

17時  
15

12時半～15時半  
ビューロー P15

JRA馬事公苑

**第3回 ごきんじょ市**  
まんまるなごきんじょ、つくりましょ  
12/10 (日) 11時～16時  
三軒茶屋ふれあい広場にて P14

**●小田急線沿線**

- ☆60代女性のお散歩に付き添ってくださる方募集 詳細 P10
- ☆小2男子に勉強を教えてくださいませんか 詳細 P11
- ☆自宅の清掃をしてくださる方募集 詳細 P12
- ☆ファミリーハウスボランティア募集 詳細 P12
- ☆自宅の清掃をしてくださる方 (有償) 詳細 P12
- ☆ふくしまっ子と外遊び 学生ボランティア募集 詳細 P12
- ☆梅丘ビューロー臨時職員募集 詳細 P13

**「ささえる会」大忘年会**  
12/8 (金) 18時半～20時半  
世田谷ボランティアセンター

**着物をあつめています**  
【募集期間】12/15まで  
せたがやチャイルドライン P15

**NPO・市民活動相談**  
随時お問合せください(事前予約制)  
世田谷ボランティアセンター P15





# OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

## ●京王線沿線

- ☆リフト付き車両運転ボランティア募集 詳細 P10
- ☆小1女子の付き添いしてくださる方募集 詳細 P10
- ☆化学物質過敏症に悩む方の生活サポート募集 詳細 P11
- ☆4才女の子のリハビリボランティア募集 詳細 P11

シンポジウム「障害は生涯、ショウガイ？」  
12/16 (土) 13時半～16時 成城ホール  
世田谷区自立支援協議会 P14

災害ボランティア  
マッチングコーディネーター養成講座  
12/23 (土祝) 13時半～16時半  
日本大学商学部 1号館にて  
せたがや災害ボランティアセンター P15

## ●東急線沿線

- ☆トイレ介助ボランティア募集 詳細 P11
- ☆ボランティアセンター臨時職員募集 詳細 P13
- ☆車いす男性の生活と仕事のサポート (有償) 詳細 P13
- ☆脳性まひのある女の子の見守り募集 (有償) 詳細 P13

- 京王線沿線
- 小田急線沿線
- 世田谷線沿線
- 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。  
他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいです。後に続く情報をマップにおいたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。  
★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安に是非ご活用ください。

学習会「子  
12/10  
フレ  
バ

第3回光明パフォーマ  
12/10 (日) 13時～  
都立光明学園 P

失語症カフ  
2018.1/12 (金) 13  
梅丘ボランティア

## 相談できます

個別の学習支援を必要としている方、「ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている。」勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない。」などの相談を受け、小・中学生の個別の学習支援に取り組むボランティアの紹介を行っています。

## ボランティア求む

### 京 リフト付き車両の運転者（ボランティア）急募！

車椅子の状態で乗り降りできる車両を使って、障害者・高齢者の外出をサポートする活動です。車両は団体名義の自家用車です。で、一種普通免許で運転できます。運転が好きで人が好きという方、大歓迎です。

初めての方でも、研修を受けていただけますし、事故の際の保険も備えていますので安心です。活動日は、運転可能な日時をあらかじめお知らせできれば、その範囲

勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。必要な方がいらしたら、お気軽にご相談ください。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木・青木  
TEL 5712・5101  
suzuki@otagaisama.or.jp

で調整し依頼致します。運転時間に応じて誠に些少ですがお礼をご用意致します。ひとりでも多くの障害者や高齢者が、外出できるようにお力添えをお願いします。

●日時/応相談  
●条件/男女不問、年齢75歳以下  
過去2年間無事故無違反  
●問合せ/特定非営利活動法人世田谷ミニキャンプ区民の会事務局  
TEL 30209・80053  
cab@d3dion.ne.jp

### 京 小学1年生女の子の付添いをしてくださる方

脊椎の障害のため、学校での生活に支援が必要な子が、塚戸小学校に通っています。週のうち3日は学校の支援員が付き添います。が、残り2日の授業中の見守りや教室移動の付添いなどが必要です。

明るく人懐っこい性格でよく話をし、なんでも自分でやってみよう！とする女の子です。子どもを尊重して関わってくださる方を募

集しています。お気軽にお問い合わせください。

●日時/火曜日・木曜日、8時20分～14時半（応相談）  
●場所/塚戸小学校  
●条件/女性。交通費は負担いたしません。  
●問合せ/梅丘ボランティアビュー  
TEL 3420・2520  
umeborata@otagaisama.or.jp

### 小 60代女性のお散歩に付き添ってくださる方募集

祖師谷にお住いの、60代で認知症のある女性のお散歩に付き添ってくださる方を求めています。施設に入居されているのですが、外出の機会が少ないことをご家族は心配されています。祖師谷で長年過ごされてきた方で、近所をお散歩すると気持ちも明るくなるようです。年代を問わず、明るい女性を希望しています。詳しくはお問い合わせください。

●日時/火曜日から木曜日の午前中1時間程度。週1～2回程度  
●場所/祖師ヶ谷大蔵駅周辺  
●交通/祖師ヶ谷大蔵駅徒歩10分  
●募集人数/1～2名  
●条件/交通費応相談。女性希望  
●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 青木  
TEL 5712・5101  
aoki@otagaisama.or.jp

## 京

### 4才の女の子のリハビリボランティア募集

脳に障害のある4歳の女の子が、ドーマン法というリハビリプログラムを実施しています。ドーマン法は脳の障害を治すためのプログラムでアメリカにドーマン研究所があります。手や足を動かすパターンニングというリハビリがあり、大人3人の協力が必要になります。毎回数時間行うため、たくさんの方の協力が必要です。

複数の方が交代で協力してくださいますが、まだ人手が必要

## 小

### 小学2年生の男の子に勉強を教えてくださいださる方募集

砧に住む、区立の小学校に通う小学校2年生の男の子に勉強を教えてくださいださる方を募集します。

プールが好きで、とても元気な子ですが、集中が続かなかつたり、文字を書くのが苦手だったり、文章の理解が難しかったり、勉強の面で苦勞をしています。勉強へ気持ちに向くように働きかけ、わからない部分を理解しやすいように工夫しながら教えてくださいださる方

です。週一回1時間でも、月に一回でも、ご協力いただける方はご連絡ください。

- 日時/要相談
- 場所/世田谷区粕谷1丁目
- 交通/千歳烏山駅徒歩10分
- 条件/子ども好きな女性、非喫煙者、交通費支給(上限あり)
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 植田
- TEL 5712・5101
- ueda@otagaisama.or.jp

を求めています。詳しくはお問い合わせください。

- 日時/月曜日、木曜日、金曜日 16時~19時の間の45分程度 週一回
- 場所/砧の自宅で
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
- TEL 5712・5101
- suzuki@otagaisama.or.jp

## 京

### 化学物質過敏症に悩む方の生活のサポート募集

多発性硬化症などの病気を患いヘルパーさんのサポートを得ながら生活をしてきた40代の女性が、7年ほど前から、薬品や洗剤などに含まれる化学物質にさらされると息苦しくなるなど体調に変化が出てしまう化学物質過敏症になりました、それに対応できるヘルパーさんが見つからなくなってしまう、生活に困っています。

食事や洗濯、室内やお風呂の掃除などの生活のサポート、洗髪など身体的なサポートをしてください方を探しています。少しでも構いませんので、ご協力いただける方はご連絡頂けると助かります。

- 日時/ご都合の良い時間で
- 場所/烏山地域の自宅
- 条件/女性。ご自身及び同居の家族が喫煙者でない方。衣類の洗濯の際に合成洗剤、柔軟剤を使っていない方。自宅室内で、芳香剤や消臭剤を使われていない方。お会いする前日の洗髪で香料のないシャンプーを使い、当日に整髪料を使われない方。
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
- TEL 5712・5101
- suzuki@otagaisama.or.jp

## 京

### トイレ介助ボランティア募集

二子玉川のオフィスビルに勤務する車イスの20代男性が、昼休みのトイレ介助(パッド交換)のボランティアを探しています。複数名でサポートしていますが、火曜を担当していただける方を求めています。介助経験のない方も、まずはお問い合わせください。

- 日時/火曜 12時40分~13時
- (頻度は応相談)
- 場所/二子玉川駅徒歩2分のオフィスビル1階
- 募集人数/1~2人
- 条件/年齢・性別・資格不問。交通費応相談
- 問合せ/玉川ボランティアアヒュ一口
- TEL 3707・3528

京王線沿線  
小田急線沿線

世田谷線沿線  
東急線沿線



## 自宅の清掃をしてくださる方 募集

千歳船橋にお住まいの50代の女性が、抗がん剤治療を受けてから体の痛みが年々強くなり、歩くことも困難で日常生活に困っています。月に2回くらい自宅のお部屋やお風呂などの清掃をしてくれる方を求めています。詳しくはお問い合わせください。



## ファミリーハウスボランティア募集

「ひつじさんのおうち」は国立成育医療研究センターから徒歩3分のところにあり、遠く自宅から離れ、東京の病院で治療するお子様と付き添うご家族が、安価で安心して滞在できるハウスです。ハウスの運営は多くのボランティアと温かいご寄付によって支えられています。ハウスのお掃除や物品整理、リネン交換など、一緒に支えてくださるボランティアの方を募集しています。

●日時／隔週火曜日 10時〜12時  
月1回でも可

●日時／平日の午後希望

●場所／自宅(桜丘)

●交通／千歳船橋駅徒歩10分

●条件／女性希望

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 青木

TEL 5712・5101

aoki@otagaisama.or.jp

●場所／ひつじさんのおうち

●交通／成城学園前駅からバスで10分

●条件／交通費支給(ボランティア登録した方のみ)

●活動前に事務局(秋葉原駅5分)でのボランティア説明会(第2・第4金曜日開催)にご参加ください。

●申込み・問合せ／認定NPO法人ファミリーハウス事務局

担当 植田桃子

TEL 6206・8372



## ふくしまつ子と外遊び学生ボランティア募集

福島から子どもたちとその家族を世田谷に招待し、放射線量の低いところで思いっきり外遊びを楽しんでもらおう、という「ふくしまつ子リフレッシュin世田谷」のプロジェクトも、この12月で17回目となります。

砧公園や羽根木プレーパークで子どもたちと一緒に遊んでくれる学生ボランティアを募集しています。ぜひご協力をお願いいたします。

●詳細はお問合せください。

●日時／12月23日(木祝)〜26日(火) 1日でも半日でも可

●場所／砧公園・羽根木プレーパークなど

●問合せ／福島の子どもたちとともに・世田谷の会

TEL 3627・7142

(NPO 僕たち)

fuku.seta.tomori@gmail.com

http://saverfukukids.jimdo.com

## 有償スタッフ募集

### 自宅の清掃をしてくださる方募集

代田にお住まいの目的不自由な女性が、週に2回くらい自宅の清掃をしてくださる方を探しています。詳しくはお問合せください。

●日時／火曜日午後と、第1・3金曜日の午前か午後、各1時間

●場所／自宅(代田2丁目)

●交通／世田谷代田駅徒歩3分

●募集人数／1〜2名

●条件／近隣にお住まいの穏やかな女性の方。1時間1000円(緊急介護人制度に登録お願いします)

●問合せ／代田ボランティアビュー

100-

TEL 3419・4545

databor@otagaisama.or.jp

## 有償スタッフ募集

### 小東 ボランティア拠点の臨時職員募集

- 世田谷ボランティア協会が運営する、地域のボランティア拠点で有給スタッフを募集しています。もっと暮らしやすい、もっとたくわくするまちにするために、あなたの力を生かしてみませんか？
- ①ボランティアアドバイザー勤務
  - 内容/ボランティア活動の推進にかかわる相談業務、諸事業の企画・立案・実施、一般事務、施設の管理、バザーの企画・運営ほか
  - 勤務地/梅丘ボランティアビュロー(梅丘1・8・9)
  - 交通/梅ヶ丘駅徒歩8分
  - 勤務日/月曜～土曜日のうち、週3日程度(ただし、月1～2回土曜日の交代勤務あり)
  - 勤務時間/9時55分～17時10分
  - ②ボランティアセンター勤務
  - 内容/ボランティア活動の推進および「ささえる会」にかかわる諸事業の実施、一般事務
  - 勤務地/世田谷ボランティアセンター(下馬2・20・14)

### 東 車いす男性の生活と仕事のサポート急募

- 交通/三軒茶屋駅徒歩12分
- 勤務日/火曜～土曜日のうち、週3日程度
- 勤務時間/9時45分～17時
- ①②とも
- 条件/20歳以上で人とかわかることが好き、地域のために何か始めてみたい方
- 雇用期間/12月以降～2018年3月末日(勤務開始日応相談。年度ごとの契約、更新あり)
- 待遇/時給960円(交通実費支給、雇用保険あり)
- 応募方法/履歴書(写真貼付)、作文「応募の動機(4000字程度)」を郵送または持参
- 選考方法/1次選考:書類、2次選考:面接
- 応募締切/適任者が見つかり次第締切
- 問合せ/世田谷ボランティア協会  
TEL 5712・5101

### 東 脳性まひのある女の子の見守り募集

- 小児麻痺(ポリオ)による障がい者で、多機能室内外一体型の電動車いすを使用している50代男性が、家族が不在の時間、自宅での回りの家事と仕事のサポートをしてくれる方を急募しています。掃除、布干し、資料文献の整理、ファイルの入れ、外出の帰宅時などの車輪に付着した落とし作業など。
- 「障害学」をはじめ社会福祉分野の研究をおこない、大学などで長年、非常勤講師の担当歴がある、明るく楽しい方です。二子玉川近辺にお住まいの方です。
- お問合せ/玉川ボランティアビュロー  
TEL 3707・3528  
fannbor@otagaissama.or.jp
  - 日時/火曜午前中、水曜か金曜の午後、1回2～4時間。月2～4回程度。詳細はご相談。
  - 場所/自宅や自宅周辺の児童館、二子玉川等
  - 交通/上野毛駅徒歩5分
  - 条件/時給1000円(交通費別途支給。大学生は20代くらいまでの女性)
  - 問合せ/玉川ボランティアビュロー  
TEL 3707・3528

### 東 脳性まひのある女の子の見守り募集

- 上野毛に住んでいる小学校6年生の女の子が、平日午前中や放課後の自宅や児童館などで見守ってくださる女性を探しています。脳性まひのため歩行や発語に障がいがありますが、バギーや車イスでの外出が大好きで、人なつこく、笑顔の可愛い女の子です。お母さまは、お子さんがご家族以外の人のかわりの中で、自分の世界を広げて欲しいと考えています。一緒に過ごしてくれるやさしい女性、お待ちしています! まずは
- お問合せ/玉川ボランティアビュロー  
TEL 3707・3528
  - 日時/月曜、火曜午前、金曜午前のうち週1～2回。各1～2時間程度。(応相談)
  - 場所/二子玉川近辺の自宅
  - 交通/二子玉川駅・上野毛駅
  - 条件/1000円(交通費別途支給あり)。区の緊急介護人派遣制度に登録をお願いします。
  - 申込み/問合せ/玉川ボランティアビュロー  
TEL 3707・3528

京王線沿線  
小田急線沿線

世田谷線沿線  
東急線沿線

# 講座・その他・募集

## 東 第3回「ごきんじよ市」開催

「ごきんじよ市」

「ごきんじよ」とは、世田谷地

域で働いている人、暮らしている人、学んでいる人、ボランティアしている人など、さまざまな活動をしている方の集まり。そんな皆さんが「活躍している場」「活動」を知ってもらう場、ゆるりと集い、知りあえる場です。

地域の「ごきんじよさん」を知るきっかけに、食へに、見に、参加しに、遊びにいらしてください。  
●日時/12月10日(日) 11時~16時

## 小 世田谷区自立支援協議会シンポジウム 「障害は生涯、シヨウガイ？」

テーマ「障害は生涯、シヨウガイ？」  
地域で暮らす生きにくさを、地域のみならず考えよう」  
シヨウガイシヤの生活はどうなる？「地域包括ケアシステム」  
●日時/12月16日(土) 13時半~16時(13時開場)  
●場所/成城ホール  
●交通/成城学園前駅徒歩4分

時

●場所/三軒茶屋ふれあい広場  
●交通/三軒茶屋駅徒歩1分

●内容/模擬店、ステージ、スタンプラリー、スタンプでオリジナルエコバッグをつくるう、はじめてのお店やさん体験ほか。

15時~ミニコンサート、うた「世界中の子もたちがや絵本」さつまのおいも」で有名な「中川ひろたかさん」登場。  
●問合せ/世田谷地域障害者相談センター 担当 山内  
TEL 6804・0405

●内容/①基調講演「シヨウガイシヤの生活を考える」藤井克徳氏(日本障害フオーラム幹事会議長)、②障害当事者が語る地域生活  
●参加費/参加無料・申込不要  
●問合せ/世田谷区基幹相談支援センター  
TEL 5376・3415

## 互いに知ることから始めたい

### —誰もが参加しやすい社会を目指して—

誰もが参加しやすい「共生社会」の実現のため、今私たちに何ができるのかを考えるセミナーを行います。  
目が見えない人は毎朝どのようなメイクしているのか？ 耳が聞こえない人が電話をかけたいたい時にはどうするのか？ そのような疑問、動画でお答えします！

講師は、当団体の全盲職員、石田由香理です。盲学校在学や留学、駐在勤務などで得た経験も活かして、みなさんと共に、「共生社会の実現」を目指すナビゲートを行います

●日時/12月8日(金) 13時40分~16時半(参加無料)  
●場所/有楽町マリオン11階(千代田区有楽町2・5・1)  
●交通/有楽町駅徒歩2分  
●問合せ/特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン  
TEL 6321・8948  
info@frcj.com

## 小 バージの会学習会「子どものキモチをきいてみよう」

「学校に行かなくても生きていける。私はその実験をし続けています」と伊藤書佳さんはニコニコ。中2の時、学校に行くことをやめ、すてきな大人にたくさん出会ってきたそうです。20歳で自著を出版。以来、編集者として活躍。子どものキモチ、暮らし、大人とのあれこれ。  
不登校の子どもの世界に耳を傾

けるひととき、是非ご参加ください。質問大歓迎です。  
●日時/12月10日(日) 13時半~15時半  
●場所/フレール西経堂第1集会所(船橋児童館となり)  
●参加費/無料  
●問合せ/バージの会 担当 稲垣  
090・8114・8113

### 小

#### 災害ボランティア マッチングコーディネーター 養成講座

災害時に被災者と災害ボランティアのニーズをつなぎ、より良く支援活動が行われるように調整するスタッフを、「災害ボランティアマッチングコーディネーター」といいます。その養成講座を開催いたします。大勢の方の受講をお待ちしております。

講座受講後、「マッチングコーディネーター」への登録もお願いします。(希望者のみ)。

●日時/12月23日(土祝) 13時半～16時半

●会場/日本大学商学部

●交通/祖師谷大蔵駅徒歩12分

●内容/講義、模擬訓練

### 小 第3回 光明パフォーマンス大会

光明学園の卒業生と教職員が協力して、光明に縁と所縁のあるパフォーマーたちを集めて、師走のひとつを楽しく盛り上がりましょうという企画を立てました。光明に縁のある方はもちろん、これから縁づくりしようという方も大歓迎! ぜひご参加ください。

●参加費/無料(要申込)

●申込み/お電話かメールでお申込みください。メールの場合、件名を「災害VMC講座申込み」として、氏名・住所・電話番号(あれば所属)をご記入ください。

●主催/世田谷ボランティア協会 世田谷区

●問合せ/せたがや災害ボランティアセンター

TEL 5712・5101  
sogata@otagaisama.or.jp  
お電話は開館時間内にお願います。(火～金曜 10時～22時、土日20時まで。月曜、祝日休館)

●日時/12月10日(日) 13時～17時(入場無料、申込不要)

●場所/東京都立光明学園体育館  
\*出演予定のパフォーマー  
ノジロー/ゆうじバンド/川上健次郎/うめごち

●問合せ/光明学園  
担当 佐々木・河田

TEL 3323・8421

### 小

#### 失語症カフェ

脳卒中や頭のケガなどで言葉が不自由になることがあります。それが「失語症」です。失語症の方の会話をサポートするボランティア「失語症会話パートナー」が失語症について書いた本をご紹介します(予定)。自由な会話が楽しめるカフェタイムもあります。

コーヒー給仕ボランティアも募集  
中! ぜひご参加ください。

### 東 NPO・市民活動相談ご活用ください

ボランティアグループや市民活動団体の立ち上げや、グループ・団体の運営に関する相談、NPO・法人の設立も含めたNPO・市民活動に関する基礎的な個別相談にも応じています。

すでに活動している方も、これから何か始めたい方も、個人、団体問わず相談可能です。まずは電話でお問合せください。(相談は無料、事前予約制)

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎

TEL 5712・5101

### 東 着物を集めています

チャイルドラインの活動資金をつくるバザーのために、着物・羽織・帯・和装小物などを集めています。状態がよければ新品だけでなく、かまいません。持ち込みいただくか、宅急便でお送りください。(送料はご負担お願いいたします)

●日時/2018年1月12日(金) 13時半～15時半(要申込)

●場所/梅丘ボランティアビューロー

●交通/梅ヶ丘駅南口徒歩8分

●参加費/300円

●申込み・問合せ/梅丘ボランティアビューロー

TEL 3420・2520  
uneborota@otagaisama.or.jp

●日時/12月15日頃まで(月曜・祝日を除く)

●送付先/〒154・0002  
世田谷区下馬2-20-14

●問合せ/せたがやチャイルドライン  
TEL 5712・5101

## 世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

### ●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

### ●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

### ●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

### ●障がいにとまなう「困った！」を話せるところ●

- 世田谷地域障害者相談支援センター 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル2F TEL (6804)0405

### ●でんわだから、はなせるネ！ 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)  
\*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

## 拠点は今… 今月のおススメ！

### ◆センター&ビューローより

12/10(日)「ごきんじょ市」開催！ 商店街の方、福祉作業所の方、学生さん、親子連れ、ごきんじょさん、「がーやん」「三茶わん」 いろんな人が集います。毎年、幅広い年代のボランティアが大活躍！ ぜひお立ち寄りください。

### ◆ふらっと&withより

街も年末に向け、色とりどりに変化をしてくれています。少しずつ「インフルエンザ」の言葉も耳にするようになってきました。身体に気をつけて楽しい年末を迎えたいと思っています。

### ◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

### ◆チャイルドラインより

11月は「子育てメッセ」に参加し、チャイルドラインを子育て中の方に知っていただくことができました。12/15・16「世田谷ポロ市」でガレージセールを行います。着物などのご提供よろしくお願ひします。

### 編集後記

- 「失語症」、言葉としては耳にしたことがありましたが、取材するまで具体的によく理解できていませんでした。横井さんは10月に昭和女子大学で開催された区民福祉学会でも「失語症カフェ」のことを発表され、多くの方の関心を集めていました。少しでも理解が広がればと思い、今回特集しました。
- 11月の恒例、「リサイクル市(バザー)」にはたくさんの品物をご提供いただき、感謝申し上げます。次回は2月22日(木)のバザーにむけてご提供お願ひします。
- 今年も1年「セボネ」をお読みくださり、ありがとうございます。良いお年をお迎えください。(み)

- 発行  
社会福祉法人  
世田谷ボランティア協会  
〒154-0002  
世田谷区下馬2-20-14  
TEL 03-5712-5101  
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL  
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ  
<http://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人  
横山 康博